

北薩感染症情報

2020年第3週(1月13日～1月19日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
E-メール kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0		174	173	24.71	↓	○	84	94	18.80	↗	○
小児科定点	RS	-	-	-		-	-	-	→	-	2	-	-	↓	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-		4	1	0.25	↓	-	10	3	1.00	↓	◎
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-		15	17	4.25	↗	-	5	3	1.00	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-		34	28	7.00	↓	-	11	-	-	↓	-
	水痘	2.0	1.0	1.0		-	2	0.50	↗	-	6	3	1.00	↓	◎
	手足口病	5.0	2.0	-		-	-	-	→	-	-	3	1.00	↗	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-		9	7	1.75	↓	◎	1	-	-	↓	-
	突発性発疹	-	-	-		3	-	-	↓	-	2	2	0.67	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-		-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-		2	2	2.00	→	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-		-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-		4	4	/	→	-	1	1	/	→	-	
報告数合計		-	-	-		245	234	/	↓	/	122	109	/	↓	/

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 「伝染性紅斑の流行発生警報」2週連続継続中、「インフルエンザ 流行発生注意報」6週連続継続中。
 ・出水保健所管内 「インフルエンザ 流行発生注意報」2週連続継続中。「咽頭結膜熱 流行発生警報」は7週連続継続中。「水痘 流行発生警報」2週連続継続中。

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 結核(患者1人), 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者1人)
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

(警報・注意報)

○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0， 警報終息基準値 1.0】

第3週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは7名（定点当たり報告数1.75）の報告がありました。

流行発生警報を2週連続継続中。

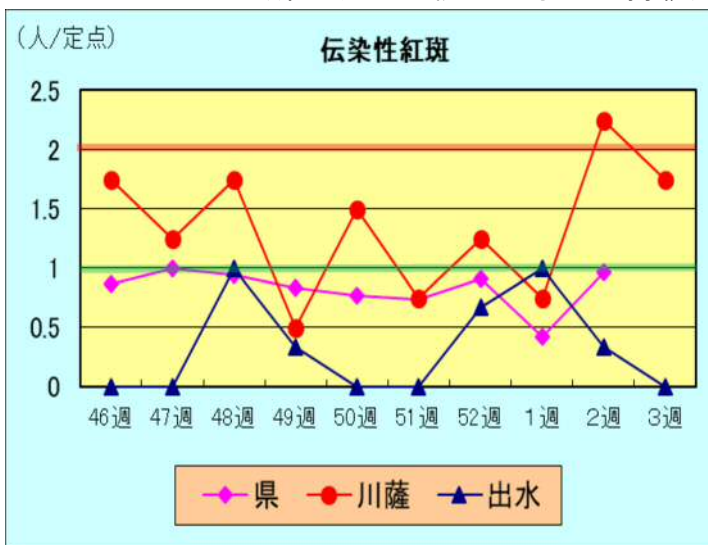
出水保健所管内からの報告はありません。

※ 特徴

伝染性紅斑とは、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。

予防については、手洗い，うがい，咳エチケットを心がけましょう。

（第3週は川薩・出水のみ掲載）



○水痘について

【警報開始基準値 2.0， 警報終息基準値 1.0， 注意報1.0】

第3週の水痘の発生状況は、川薩保健所管内からの報告は2名（定点当たり報告数 0.50）の報告がありました。

出水保健所管内からの報告は3名（定点当たり報告数1.00）の報告がありました。

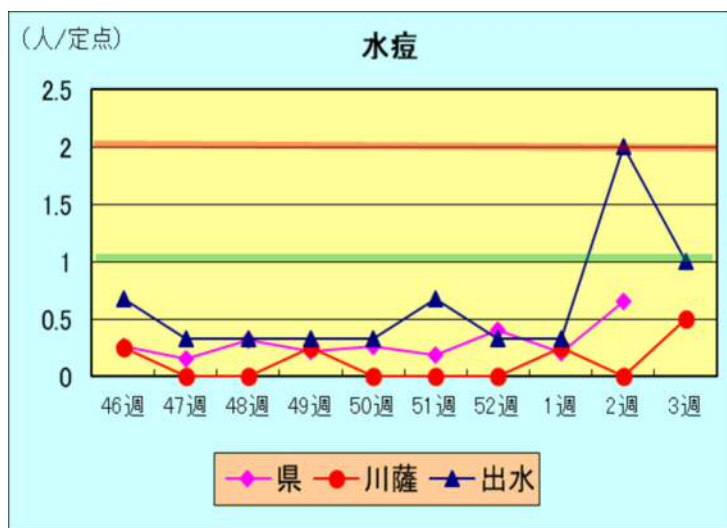
流行発生警報を2週連続継続中。

※ 特徴

水痘は、「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。

季節的には毎年12～7月に多く、罹患年齢は殆どが9歳以下です。

（第3週は川薩・出水のみ掲載）



予防方法としては患者との接触を避け、手洗いの励行，ワクチン接種などです。

○咽頭結膜熱について

【警報開始基準値 3.0 警報終息基準値 1.0】

第3週の咽頭結膜熱の発生状況は、川薩保健所管内からは1名（定点当たり報告数0.25）の報告がありました。

出水保健所管内からは3名（定点当たり報告数1.00）の報告がありました。

流行発生警報を7週連続継続中。

※ 特徴

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって起こる疾患で、季節的には、通常夏期に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれています。

予防としては感染者と密接な接触を避け、流行時にうがいや手指の消毒を励行することが必要です。

（第3週は川薩・出水のみ掲載）



○ インフルエンザ

【警報開始基準値 30.0 【注意報開始基準値 10.0 警報終息基準値 10.0】

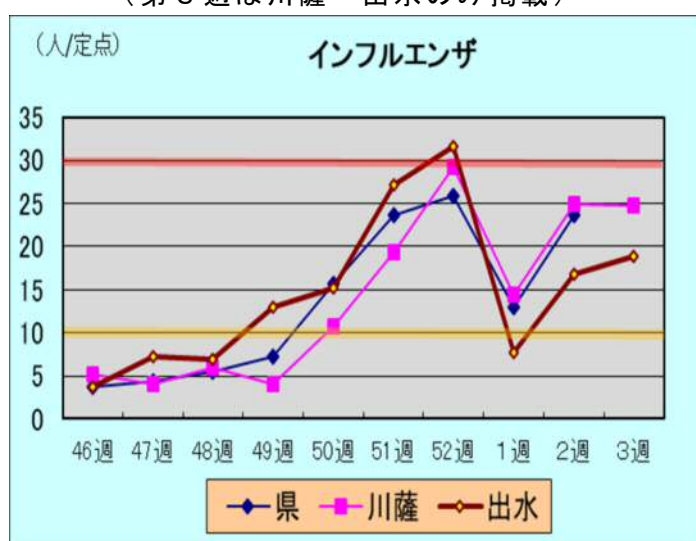
第3週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所管内からは173名（定点当たり報告数24.71）の報告がありました。

流行発生注意報を6週連続継続中。

出水保健所管内からは94名（定点当たり報告数18.80）の報告がありました。

流行発生注意報を2週連続継続中。

（第3週は川薩・出水のみ掲載）



インフルエンザを人にうつさないように気をつけよう

1 インフルエンザの予防のために

① 外出後の手洗い等

流水・石けんによりウイルスを物理的に除去。アルコール製剤による手指消毒も効果的

② 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下。加湿器を使って50～60%を保持

③ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がける

④ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、睡眠不足の方は人混みや繁華街への外出は控えるやむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合には不織布製マスクを着用する



2 インフルエンザにかかってしまったら

～ まずは安静にし、休養をとりましょう ～

① 咳エチケットを守りましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）です。

感染者であっても、全く症状のない（不顕性感染）例や、感冒様症状のみでインフルエンザに感染していることを本人も気づかない軽症例も少なくありません。



したがって、周囲の人にうつさないよう、次のことなどを守るよう心がけてください。

- ・咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ・不織布製マスクをすること。マスクがない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他人に向けないこと
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ袋に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと

② 症状がなくなっても、人にうつす恐れあり

インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出すると言われています。無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

現在、学校保健安全法では、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。